

教科 Subject	音楽科		科目 Course	音楽Ⅰ	学年 Grade	4	単位数 Credits	2	
教科書 Textbook	教育芸術社「高校生の音楽2」			副教材Additional Text /materials					
科目の目標 Course Objectives			音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
評価の基準 Assessment Standards			実技試験=50%、授業内テスト=50%						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	Music Notation			「ベートーヴェン/ピアノ楽曲」を写譜し、楽譜の仕組みを理解する。ピアノ楽譜を手で写譜することでより注意深く楽譜を観察する。Finaleの概要・使用法説明。			
		2	Finale導入						
		3							
	5	4	プレゼンテーション			最も好きな曲・アーティストについて調べ、発表をおこなう。一名ずつ発表。			
		5							
6	7	6	プレゼンテーション			何も知らない人にも興味を持ってもらえるように、わかりやすく、構成に工夫しながらおこなう。 カナダ国歌・イギリス国歌・日本歌曲の練習。1年後の国際理解研修を見据え、各国国歌を学習しておく。			
		8							
		9	外国の国歌						
7	11	10	Music Notation			Finaleを使用し、楽譜入力的基础を実践・復習する。			
		12	Finale						
2 学期	9	13	Finaleの学習			Finaleを使用し、楽譜入力的基础を復習する。 音程の学習。			
		14	音楽理論						
		15							
		16							
	10	17	音楽理論			音程の学習。			
		18							
		19							
	11	21	20	音楽理論			複雑な音程の理解。 コンコーネ・コールユーブンゲンを使用した音感・音程の練習。 リズムパターンを利用しリズム感を鍛える学習。		
22			歌唱力強化						
23			リズム力強化						
24									
12	25	25	2学期の総復習			音程の応用。			
		26							
3 学期	1	27	DVD鑑賞「We are the World」1			世界を一世風靡した飢餓救済プロジェクト。 曲が作られていく過程と、その本来の目的を知る。			
		28	DVD鑑賞「We are the World」2						
		29							
	2	30	30	合唱			英語曲を1曲選曲、合唱や音楽の持つ力について考える。 曲全体の音楽構成を分析、より明確なアプローチしながら全体のステージングを完成する。		
			31						
			32						
			33						
	3	34	34	学年のまとめ			1年間の復習		
			35						

履修者へのメッセージ Message for Students

高校課程より選択科目になる音楽は、中学課程とは異なりより専門的な分野を勉強していきます。まずは楽譜製作、楽譜製作ソフト [Finale] を使用してPCで楽譜を製作する基礎を学びます。また国際理解研修を見据え、各国の国歌を学習します。3学期のヴァイオリンコンサートでは高校生としてよりハイレベルな曲目にチャレンジしていきます。

教科 Subject	音楽科		科目 Course	Violin	学年 Grade	4	単位数 Credits	2	
教科書 Textbook	鈴木教本2巻他			副教材Additional Text /materials					
科目の目標 Course Objectives			合奏法を中心に学び、和声の美しさ、合奏することの楽しさを感じ取る。						
評価の基準 Assessment Standards			実技試験=100% 教科「音楽」へ加算。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	霧島			霧島音読み開始。			
		2							
		3							
	5	4	霧島			ハーモニクス奏法やピッツィカート奏法等、高度なテクニックを習得する。			
		5							
6	7	7	霧島			強弱や音楽記号の指示を正確に表現出来るようにする。アウフタクト、シンコペーション奏法を身につける。3rdポジションの導入でより高い音域の音を出せる様にする。			
		8							
		9							
7	11	10							
		11	霧島			霧島の仕上げ。 曲の流れを感じ取る。			
2 学期	9	13	エトピリカ			少々難易度の高い曲だが、誰もが耳にしたことのある曲を選択することで、意欲をかき立てる。 音読み。			
		14							
		15							
		16							
	10	17	17	エトピリカ			スラーもつけ、再度3rdポジションの演奏法とレガート奏法の確認をする。 曲の構成、フレージングを考え、まとめる。		
			18						
			19						
			20						
	11	21	21	エトピリカ			自分の欲求する音色を出せるようになることを目指す。 フレージングを感じ、なめらかな運弓法やポジション移動の技術を身につけ、曲を完成させる。		
			22						
			23						
			24						
12	25	25	エトピリカ			曲の完成。滑らかな演奏を習得する。			
		26							
3 学期	1	27	カノン（パッヘルベル）2重奏			難易度の高い曲、誰もが耳にしたことのある曲を選択することで、演奏意欲をかき立てる。 音読み。			
		28							
		29							
	2	30	30	カノン（パッヘルベル）2重奏			スラーを正確につけ、レガート奏法の確認をする。 フレージングを感じ、なめらかな運弓法やポジション移動の技術を身につけ、2重奏を完成させる。		
			31						
			32						
	3	34	33						
			34	カノン（パッヘルベル）2重奏			曲を暗譜させ、ステージ上で演奏することにより、緊張感、充実感、達成感を感じ取る。		
			35						

履修者へのメッセージ Message for Students

これまでに習得してきたヴァイオリンの基礎を元に、さらに専門的にテクニックや音色、音楽性を追求していく1年です。ただ「正しい音を出して演奏する」というだけでなく、体の重心のかけ方や弓にかける腕の重さ、歌い方や左手のタッチの仕方ひとつで、様々な表情の音色を出す事が可能になります。この1年間は「音色の追求」を目標にし、年度末のヴァイオリンコンサートでは、中学生のお手本となる演奏が出来る様になっていることを期待しています。

教科 Subject	音楽科		科目 Course	音楽科Ⅱ	学年 Grade	6	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	教育芸術社「高校生の音楽 2」			副教材Additional Text /materials				
科目の目標 Course Objectives			音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。					
評価の基準 Assessment Standards			実技試験=50%、授業内テスト=50%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	音楽研究			ソルフェージュ曲集より練習曲を設定し、いろいろなリズムパターンを楽譜・演奏両面から体験し、分析する。		
		2						
		3						
	5	4	アンサンブル			リズムパターンを利用しリズム感を鍛える学習。自分のパートの役割を理解し、アンサンブル活動を行う。またパートを交代し、アンサンブル内での各々の役割を理解する。		
		5						
6	6	音楽理論			CMやドラマ、式典やスポーツに使われている身近な音楽について1曲選曲し、作曲者や曲の背景と共に楽曲分析をする。題材を選び、発表の場を設ける。			
	7							
	8							
7	9	1学期のまとめ			1学期のまとめと2学期（作曲）への準備			
	10							
2 学期	9	11	Music Notation Finale			Finaleの使用法を復習する。大譜表の作成や歌詞入力を覚える。楽譜を1つの作品として完成させる。		
		12						
		13						
		14						
	10	15	Music Notation Finale			Finaleを使用した作曲に取り組む。大譜表の作成や歌詞入力を覚える。楽譜を1つの作品として完成させる。ピアノ曲、歌唱曲、アンサンブル譜を入力し、Midi再生機能を設定を学習する。		
		16						
		17						
		18						
	11	19	Finaleの応用 作品の制作			画像とのリンクを学習する。 作曲→楽譜入力→映像とのリンクを行い、1つの映像作品を完成させる。		
		20						
		21						
		22						
12	23	6年間のまとめ			6年間の学習を振り返る。			
	24							
3 学期	1	25						
		26						
		27						
	2	28						
		29						
		30						
	3	31						
		32						
		33						
3	34							
	35							

履修者へのメッセージ Message for Students

高校課程最高学年として高度な分野に挑戦します。1学期は2学期に行う作曲に向け、基礎となるコードネームを学習します。また音感のトレーニング、リズムトレーニングも学習します。2学期は作曲作品の完成と共に、Finaleを応用した学習：Midi機能の応用+発展を学習し、最終的には自分で作曲した楽曲と映像（ムービー）をリンクさせる学習をします。この6年間でこの日常で何気なく触れている「音楽」をいかにより楽しむことができるかを追求してきました。少しでもそれが習得できていれば嬉しいです。

教科 Subject	音楽科		科目 Course	Violin	学年 Grade	6	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	鈴木教本 2、3巻 Violin Method等			副教材Additional Text /materials				
科目の目標 Course Objectives			独奏曲、合奏曲の様々な曲に取り組み、レパートリーを増やす。					
評価の基準 Assessment Standards			実技試験=50%、授業内テスト=50%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	愛の挨拶 (エルガー)			音読み。 部分的に出てくるポジション移動の練習。		
		2						
		3						
	5	4	愛の挨拶 (エルガー)			フレージングを考え、音に表情がつけられるように。 曲の完成。		
		5						
		6						
	6	7	いつも何度でも			アウフタクト奏法の習得を目指す。 親しみやすい曲目を題材にし、演奏する楽しみを覚える。		
8								
9								
7	10	いつも何度でも			3拍子の曲のテンポの感じ方を覚え、楽しみながら弾ける様に。			
	11							
	12							
2 学期	9	13	ソロコンサート準備			ソロ曲を自由に選択し1人ずつ発表するコンサートに向けての準備を開始。 それぞれの曲の音読みをし、スラー、音程感等を徹底して揃うように努力する。		
		14						
		15						
		16						
	10	17	ソロコンサート準備			個々のピアノリハーサルの開始。 より美しいハーモニーを奏でられる様に練習する。		
		18						
		19						
		20						
	11	21	ソロコンサート			6年間の学習の力を存分に発揮し、お互いの演奏を楽しむ。 録画を実施し、反省の材料とする。		
		22						
		23						
		24						
12	25	6年間のまとめ			6年間の学習を振り返る。			
	26							
3 学期	1	27						
		28						
		29						
	2	30						
		31						
		32						
	3	33						
		34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

6年生では、それぞれ個々に曲を選び、各自目標を立て、1年間ヴァイオリンを練習していきます。ソロの曲でも数名でのアンサンブルでも構いません。その成果(6年間の集大成)を学年末にクラス内で発表します。音楽とは音を楽しむこと。また、音楽を奏でることによって、自分自身、さらに聴いている全ての人の心が豊かになれば、それはとても意味のある事だと思えます。この学校で6年間学んだヴァイオリンが、そのきっかけになってもらえたら嬉しいです。